



いのちのたび

〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
http : //www.kmnh.jp/
(発行) 北九州市立いのちのたび博物館ミュージアムティーチャー

早春の暖かさを感じる時期です。学校では卒業式に向けて、あわただしい毎日をお過ごしのことと思います。今年度も遠足や社会見学、体験学習などで多くの学校にご利用いただきました。博物館は、昨年末にリニューアル第2弾を行い、より一層、子どもたちの好奇心を高める場となりました。スタッフ一同、新しくなった博物館で皆様のご来館を心よりお待ちしております。

春の特別展「カラース ~自然の色のふしぎ展~」

【開催期間】令和6年3月16日(土)~5月6日(月休)

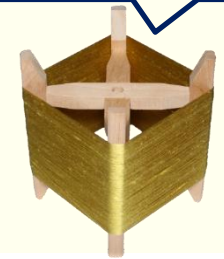
自然界の色、特に多彩な生きものの色に注目した特別展です。様々な標本と共に生きものの色を紹介し、なぜその色を纏っているのかという謎に対し、生存・繁殖戦略や進化的視点から迫ります。また、私たちの暮らしは古くから色とともにありました。人間がどのように自然の色を生活に取り入れてきたのかについても紹介します。



ニジキジ(オス)の剥製の展示



くさきぞめいと草木染の糸



リュウキュウアカショウビンの剥製の展示

■常設展のみ		
	一般	団体
大人	600円	480円
高・大生	360円	280円
小・中生	240円	190円

■特別展のみ		
	一般	団体
大人	700円	560円
高・大生	500円	400円
小・中生	400円	320円

お得なセット券もあるよ!

※団体は30名以上のお一人様料金です。
※3月末までは、福岡県子ども美術館・博物館無料鑑賞事業により小・中学生は常設展無料です。

先生、ちょっと聞いて! 「教員のための博物館研修」を開催!

期日: 令和6年
7月24日(水)【小学校自然史系】
7月26日(金)【小学校歴史系】
7月31日(水)【中学校理科】
8月2日(金)【市外】

内容: プログラム体験、展示物観覧、教材研究、バックヤードツアー 等

まもなく学校へ詳細をお知らせします。お申し込みはQRコードから電子申請となります。



研修の様子

ミュージアムのタネ



はやし 速く走るウマ

うま 馬ってすごいね!



ウマの骨格(前足)

ウマという、たてがみをなびかせて走っている姿が思い浮かびませんか。ウマの祖先は体が小さく森林の中で暮らしていたそうですが、地球の寒冷化によって草原が広がった時代に、森から出て草原で暮らすようになりました。このような開けた環境で捕食者から逃げるために、ウマの体は速く走るように変化してきました。ウマの足先はひづめと呼ばれる大きな爪で覆われていて、これは中指1本だけが大きくなったものです。他の4本の指は退化してなくなっています。このようにウマは足を長く伸ばし、地面を蹴る大きなひづめを持つことによって速く走る体へと進化してきました。

また、ウマは古くから家畜化され、人や荷物を載せて運んだり、田畑を耕したりする役割をしてきました。日本にはそれぞれの地域で利用してきたウマがいて、「日本在来馬」と呼ばれ8品種が残っています。乗馬や競馬などに使われている足が長く背の高い「サラブレッド」は、美しい姿で速く走る品種に改良して



木曾馬の剥製の展示

きたものです。大昔から人と暮らしているウマですが、いつ頃どのように家畜化されたのかはまだわかっていません。現在、野生のウマはモンゴルと中国北部の草原にいるモウコノウマだけです。かつてはユーラシア大陸の中央草原に広く生息していたようですが、野生では絶滅してしまいました。1990年代から動物園で飼育されていた個体を野生に放つ取り組みが始まり、現在は約200頭が生息しているそうです。



ぽけっとミュージアム3「骨 Bones」

いのちのたび博物館では「ぽけっとミュージアム 3」の展示をリニューアルし、いろいろな動物の骨を比べて見ることができるコーナーとなりました。

ここには日本在来馬である木曾馬の全身骨格標本を展示しています。隣に展示してあるエゾシカの骨格と比べてみてください。木曾馬骨格の3Dデータを見ることができるようになりました。(→)



自然史課学芸員 中西 希